



令和8年度

横浜市立生麦小学校

学校だより 8月（葉づき）・9月（長月）

横浜市鶴見区生麦4-15-1

学校長 上床 健太

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/namamugi/>

学校に元気な笑顔が戻ってきました

校長 上床 健太

長い夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声と明るい笑顔が戻ってきました。静かだった校舎や校庭が、一気に活気に満ちあふれ、私たち教職員もとてもうれしく感じています。そんな子どもたちの笑顔から、それぞれの夏休みを普段の学校ではできない様々な体験を通して、多くの事を感じ、成長につなげることができたことが伺えました。

さて、今年の夏も厳しい暑さが続きました。そのような中、子どもたちが大きな事故やけがに遭うことなく、元気に前期後半のスタートを迎えることができたことを何よりうれしく思います。これもひとえに、ご家庭の皆様が日々の健康管理や見守り、安全指導にご尽力くださったおかげです。また「生麦学び場・遊び場の会」の皆様には、全学年を対象に学習会を開いていただきありがとうございました。参加した子どもたちが、一生懸命にそして、楽しそうに学ぶ姿がとても印象的でした。夏休み中は、私もラジオ体操やお祭りなどの地域行事に伺いました。地域の皆様が、子どもたちを温かく見守り、優しく触れあっていただいていること、そして、皆様のかかわりが夏休みの子どもたちの成長につながっていることを改めて実感いたしました。心より感謝申し上げます。夏休みは、学校を離れて過ごす長い期間です。だからこそ、家庭や地域の中でしかできない貴重な学びがあります。家族旅行や帰省、地域の行事への参加、読書や自由研究、スポーツや習い事への挑戦など、一人一人がそれぞれの場所で多くの経験を積んできたことでしょう。また、お手伝いを頑張るなど、家庭の中で自分の役割を果たした子どもたちも少なくなかったと思います。私たちは、とすると学力や成果に目を向けがちですが、人との関わりや自然との触れ合い、家族との時間の中で育まれる心の成長も大変重要です。この夏休みに経験した喜びや感動、時にはうまくいかなかったことや悩んだことも含め、すべてが子どもたちの成長の糧になっているはずです。ぜひご家庭でも、お子様の夏休みの思い出や頑張ったことを改めて話題にさせていただき、その成長を認め励ましていただければと思います。

今日から、学校での生活が再開しました。子どもたちには、この夏休みに蓄えたエネルギーと様々な経験に変え、「やってみよう」「頑張ってみよう」という前向きな気持ちでこれからの活動に臨んでほしいと思います。失敗を恐れず挑戦すること、友達と協力すること、そして自分らしさを大切にしながら成長していくことを期待しています。一方で、子どもたちは、久しぶりの学校で、生活のリズムを学校のリズムに戻すのに時間がかかるかもしれません。また、久しぶりの学校に不安を抱えている子もいるかもしれません。子どもたちが、安心して学校生活に戻れるよう支援していきますので、不安なこと、お困りのこと等ありましたら、すぐに学校へ連絡してください。また、秋は、運動会などの大きな行事も控えています。行事を通して、子どもたちが成長を実感できるよう教職員一同力を合わせて支援してまいります。